

平成 20 年 4 月 18 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 20 年 4 月 18 日 (金曜日)

午後 4 時から午後 5 時 30 分まで

2 場 所 長岡市教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信

委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課長 押見 康雄

学務課長 那須 清 学校教育課長 腮尾 理

子ども家庭課長 矢沢 康子 保育課長 若月 和浩

中央公民館長補佐 岩野 守男 中央図書館長 小野田 信子

科学博物館長 山屋 茂人 教育センター所長 山岸 文夫

学校教育課主幹兼管理主事 星野 和人 学校教育課主幹兼管理主事 島倉 昭宏

保育課総括主査 本間 初江

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 武樋 正隆 教育総務課庶務係 吉田 友香里

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		議席の指定
3	第 26 号	教育に関する事務の点検及び評価の基本方針について
4	第 27 号	附属機関委員の委嘱について
5	第 28 号	専決処理について（補正予算の要求について）

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会 4 月定例会を開会する。会議に先立ち、教育委員及び事務局職員の異動があったので、自己紹介をお願いします。

（大橋委員長、中村委員） [順次、自己紹介]

（教育部長、事務局各課・館・所長、管理主事） [順次、自己紹介]

◇ 日程第 1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び中村委員を指名する。

◇ 日程第 2 議席の指定

（大橋委員長） 日程第 2 議席の指定を行う。議席の指定については、会議規則第 7 条の規定に基づき、委員長が指定することとなっているので、ただいまの着席のとおり指定する。

◇ 日程第 3 議案第 26 号 教育に関する事務の点検及び評価の基本方針について

（大橋委員長） 日程第 3 議案第 26 号 教育に関する事務の点検及び評価の基本方針について を議題とする。事務局の説明を求める。

（押見教育総務課長） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の改正に伴い、教育に関する事務の点検及び評価の基本方針を定めたいものである。毎年度、

教育委員会が前年度に実施した事務について点検及び評価を行う。教育に関し学識経験を有する大学教授や教員OB等で構成する長岡市教育委員会点検・評価委員会（仮称）を組織する。事務局が自己点検・評価し、その点検報告書に基づき、点検・評価委員会で議論し、最終報告書を作成する。その後、教育委員会定例会で決定し、市議会に報告、公表したいものである。

（大橋委員長） 質疑、意見はないか。

（加藤教育長） 教育基本法、教育三法の一部改正によって、教育委員会が管理する事務の執行状況を点検・評価し、議会に報告することが義務付けられた。報告の仕方や報告後の対応については、議会とも調整が必要である。また、点検・評価の項目については、地方自治法で示されている総合計画に基づいて設置する。教育の分野は具体的な数値で示すことができないものも多く、文章表現を使うこともあると思う。

（大橋委員長） 点検・評価の項目の順は、担当課が分散していて整っていないように感じたが。

（若月保育課長） 項目の順は総合計画に基づいた順になっている。あくまでも例であるので、よりわかりやすいように検討したい。

（大橋委員長） 質的な内容の面も考えているのが理解できる。

（加藤教育長） 各項目の表の下の「施策の内容」に具体的事項を記載することになり、内容も膨らんでくると思う。

（大橋委員長） 他に質疑、意見はないか。

（大橋委員長） ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

（大橋委員長） 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

◇ 日程第4 議案第27号 附属機関委員の委嘱について

（大橋委員長） 日程第4 議案第27号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

（押見教育総務課長） 長岡市スポーツ振興審議会委員、長岡市栃尾美術館協議会委員について、人事異動に伴い委嘱したいものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

◇ 日程第5 議案第28号 専決処理について

(大橋委員長) 日程第5 議案第28号 専決処理について を議題とする。事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 長岡市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第4条第2項第1号の規定に基づき、専決処理したので、これを報告し、承認を求めるものである。具体的には、平成20年3月31日専決補正予算を要求したものであり、事業費の確定に伴う市債の減額等である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 下小国小学校は中越沖地震で被害を受け補修しているが、児童はいつ頃から校舎に戻れるか。

(押見教育総務課長) 5月までに改修工事を終わらせ、6月から改築した校舎での授業を再開する予定である。子どもたちに負担をかけず、学業に影響を与えないように引越し等を進めていきたい。

(大橋委員長) 他にないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり承認することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり承認した。

(大橋委員長) 以上をもって、本日の日程は終了する。続いて、協議報告事項に移る。教育委員会会議録のホームページ公開について 事務局から説明を求める。

(押見教育総務課長) 教育委員会の会議は原則公開とされ、長岡市教育委員会でも傍聴規則を定め、会議を公開するとともに会議録も請求により公開している。今まで

以上に地域住民に教育委員会会議の状況等を積極的に知る機会を提供するため、個人情報を除き、会議録をホームページで公開したいものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 事務量が膨大になってきている気がするが、負担にならないか。

(若月保育課長) 実際、毎月会議録を作成しているが、現在の範囲であればそれほど負担にならないと考える。また、負担が大きくならないような工夫をしたい。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に 学校諸経費未納状況について 事務局から説明を求める。

(那須学務課長) 学校給食費の未納については全国的に問題となっており、長岡市でも未納状況と対応について、文教福祉委員会で質問等があった。法的な対応を含め検討したいと答弁した経過がある。法的対応については、お金があるのに払わないという悪質なものに対し、法的措置を行う旨を配達証明郵便で通知し、簡易裁判所に支払督促の申し立て手続きを行い、それでも納めない場合は給与等の差し押さえを行うというものであり、昨年8月に決裁を終えている。就学援助を受けているにもかかわらず未納がある場合は、校長へ受領委任をするよう学校に指導している。教育総務課、学校教育課、学務課、庶務課法規担当で協議を行い、督促等の経過をきちんと記録し、決算報告にも未納があることを明記し、法的措置を前向きに検討することとした。督促状の発送や保護者面談、家庭訪問等により、未納は減ってきている。今年度も学校と教育委員会が連携をし、引き続き未納解消に努めていく。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 校長が直接未納者の自宅に出向くこともあるのか。

(那須学務課長) そういうケースもある。教頭、学務課長、課長補佐等で一つのグループを作り、家庭訪問することもあった。

(内藤委員) いろいろなケースがあると思うが、危険のないようにお願いしたい。

(中村委員) 未納者の自宅へは事前に連絡をしてから訪問するのか。

(那須学務課長) まずは面談ということで、配達証明付の郵送で通知した。昨年度は14世帯に郵送し、9世帯とは面談を行った。反応のなかった世帯は連絡なしで訪問した。未納していることを父親が知らない家庭もあり、母親が勝手にお金を使ってしまうケースも多いようである。

(内藤委員) 払いたくても払えない家庭はあるか。

(那須学務課長) 今回面談をした中では、国保の滞納等がある家庭が1件あった。この場合については、就学援助が受けられるということを説明し、子どもに関わる経費であるので、校長から受領委任してもらってほしい旨を伝えた。

(大橋委員長) 努力のおかげで少しずつ未納が減っている。引き続き頑張ってもらいたい。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 第39回子どもフェスティバルについて事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 4月29日に子どもフェスティバルを開催するので報告する。これまでも市の子ども会連絡協議会と教育委員会で連携し、実施してきた事業である。今までは屋外で開催してきたが、厚生会館がシティーホールに生まれ変わるため、感謝の意味も込めて、今年は厚生会館で行うこととした。子ども会単位や親子で約500名の申し込みがある。まちなかが大変にぎわう一日になると思っている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(内藤委員) チラシにトン汁の配布とあるが、作ってくれる方は。

(矢沢子ども家庭課長) 宮本村さんが例年出店をしてくださっている。

(中村委員) 昨年の子どものフェスティバルに比べて参加人数はどうか。

(矢沢子ども家庭課長) 昨年と同じくらいである。厚生会館は駐車場がないので心配したが、昨年並みに集まって安心している。

(中村委員) まちなかが活性化されて大変よい。昨年は越後丘陵公園での開催で天候に左右されることがあったが、今年は雨天でも関係なくできるのでよいと思う。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 平成20年度長岡市成人式について事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 長岡地域の成人式の実施について報告する。5月3日午前11時から市立劇場大ホールで行う。対象者はおよそ2,000人である。内容は昨年同様、保育園児による演奏や中学校時代の恩師からのビデオレター、新成人のインタビューを予定している。栃尾地域は4月に成人式を終えているが、長岡地域も含め5月に3地域、8月に6地域の成人式を予定している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) ないようであれば、次に 長岡市青少年問題協議会委員について事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 長岡市青少年問題協議会会長は市長であり、会長を含め25名に委員をお願いしている。任期は2年である。年に2回協議会を開催しており、今年度1回目は7月に開催を予定している。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) ないようであれば、次に こどもすこやか応援事業について事務局の説明を求める。

(若月保育課長) 昨年4月の組織変更で保育園が教育委員会所管になったことにより、保育園で障害が疑われる児童について、小学校と連携して支援を行うもので、学校教育課、子ども家庭課、保育課で協議してきた事業である。

(本間保育課総括主査) この事業の目的は、障害が疑われている児童に早期に気づき、就学前から就学後まで一貫した計画の下に継続した支援を行い、保護者と共に児童のよりよい成長を促すことである。保育園現場にいと、集団に馴染めない子どもやこだわりが強い子ども、突然乱暴な行動をする子どもが増えてきていると感じる。事業内容としては、長岡市立及び私立保育園・幼稚園に通う児童並びに保護者に対する支援として「知的、発達障害が疑われる児童に早期に気づき、適切な支援ができるよう助言する。」「支援計画の作成を支援する。(親と保育士で作成)」「園が行う相談・支援について後方支援を行う。」がある。また、本事業関係者の資質向上のための研修会や事例検討会の開催、ユニバーサルデザインの推進等を行う。小学校への引継ぎ体制をつくり、継続して支援する。なるべく全ての園を訪問し、事業の周知をしたいと考えている。担当する職員は、保育課のすこやか応援班の職員や臨床心理士等である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 親が認めないケースも多いと思うが。

(本間保育課総括主査) 一番現場が困っているのが、親が認めないケースである。発達障害がある子に限って、字が早く読めたり大人っぽい話し方をしたりすることがあり気づきにくい。親が認めなくても、保育園現場ではかかわり方を変えなくてはいけないと思う。年長の園児の場合は、支援計画を作成し小学校に伝えていくが、親が

認めない場合は、保育園生活の中で保育士が気づいたことなどを基に支援計画を作成する。

(羽賀委員) 診断や発見より支援を優先しているのありがたい。親にプレッシャーを与えず、子どもにとっても良いと思う。

(内藤委員) 大変よい取組である。今年度の事業の対象は4・5歳児ということだが、もっと小さいときに気づくことができるとさらに良いと思う。

(本間保育課総括主査) 0～1歳児でも、言葉が出るのが早かったりこだわりが強かったりする子がいる。周りがかかわり方を変えれば、集団の中でもうまく行動できるようになるのではないかと思う。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 栃尾美術館「画歴を語る 丸山正三展」の開催について 事務局の説明を求める。

(小野田中央図書館長) 4月19日から6月15日まで、長岡市栃尾美術館で開催される。油絵を中心に、下絵、デッサン等120展ほど用意しているので、是非ご覧いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 長岡市指定民俗文化財の指定解除について 事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 指定解除文化財は「巫女爺踊り」「飯塚巫女爺と若衆の手踊り」「不動沢巫女爺」の3点である。3月25日付けで県指定の文化財となるため、自動的に長岡市の指定文化財を解除されるものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) ないようであれば、次に 海牛特別展覧会について 事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 平成18年12月に妙見町の工事現場で発掘された海牛化石の研究、保存処理作業が進み、一部レプリカを作製したため、これらについて5月5日から5月18日まで展示・公開するものである。5月10日には、クリーニング作業を公開する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) クリーニング作業の公開はどこで行うのか。

(山屋科学博物館長) 展示室で行う予定である。かなり石が弱いので慎重に行わなければいけない。

(大橋委員長) 他に協議報告事項はないか。

(腮尾学校教育課長) 昨年度の「熱中！感動！夢づくり教育」の学校子どもかがやき塾事業の成果がまとまったので配布させていただきたい。学校側が創意工夫をして行う事業に対して財政支援をするものである。一校平均約 40 万円を配当している。各学校がいろいろなアイデアを出して取り組んできた成果である。今年度は小学校 12 校、中学校 6 校を指定する。

(大橋委員長) これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、これをもって閉会とする。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員